

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9
10	11	12	13	14	15 なかよしランド	16
17	18	19	20 お誕生日会 内科検診	21 お花まつり 御降誕会	22	23
24	25	26 春の遠足	27	28 歯科検診	29	30
31 ←		スポーツテスト週間 →				

※新型コロナウイルス感染防止のため、行事が中止または延期になる場合があります。

★春の遠足について

日時:5月26日(火)

場所:夢広場

服装:半袖体操服シャツ・

長ズボン(ジャージ)カラー帽子

持ち物:リュックサック・お弁当・敷物

お手拭・ゴミ袋

※おやつはともしび会で用意します。



5月生まれのお友だち

6日 ふじもと りんかさん 5才  
ひょうどう みなとくん 6才

17日 にしだ たけるくん 5才

21日 いたう かいりくん 5才  
やまなか りゅうせいくん 5才

26日 いしかわ ひまりさん 5才

30日 たなか こうきくん 6才

6月の行事

- 1日(月) 衣替え
- 2日(火) 芋の苗植え(月組)
- 4日(木)5日(金) 自由参観日
- 17日(水) お誕生日会
- 18日(木) 美祢幼稚園交流(月組)・お弁当の日
- 23日(火) 交通巡回指導

《なかよしランド》

5月15日(金)

なかよしランドでは、月組・星組・花組による縦割り保育を行います。

異年齢児で様々な活動に取り組んでいきます。



「やられたら  
やり返す」  
そこに  
安らぎは  
ない

— 今月の言葉 —

(小池秀章)

やられたら、やり返したくなるのは、人間の普通の感情です。しかし、「やられたら、やり返す」を繰り返しては、いつまでたっても安らぎはありません。仏教では、怨みを超えて、すべてのものを慈しむ心を、慈悲といいます。ただ、私たちにあって、怨みを超えて、慈悲の心を持つことは簡単なことではありません。昔、高校3年生が『慈悲とおもいやり』という作文を書いてくれました。

「現代は慈悲の心から離れつつある。未だに戦争が終わらない国もあり、人が人を平気で殺めること<sup>あや</sup>もある。そういう人たちに、慈悲の精神をもちなさい。とただ言った所で、冷たいようだが私は何も変わらないと思う。それよりも、私たちは阿彌陀様の大きな慈悲の中で生かされているのだ、と言った方が命の重みについて考えることができるのではないだろうか。私も家族も友人も、見ず知らずの赤の他人も皆生かされているのだ。皆同じ世界に住み、皆同じ慈悲の中にいる。そう思うと私は、周りの人々に対して、私には関係ない存在だ、とかどうでもいい存在だとかそういう感情はきつと生まれてこないと思う。」

(M.M.) 『求道』45号より

親鸞聖人は、煩惱だらけの私たちに、「慈悲の心を持ちなさい」とは言われません。「阿彌陀様の慈悲の心に出遇<sup>であ</sup>つてくれ」と願っていてくださいます。阿彌陀様の慈悲の心に出遇った時、私もあなたと共に、阿彌陀様に心配をかけている煩惱だらけの凡夫<sup>ぼんぷ</sup>だと気づかされます。そこに、少しづつではあるでしょうが、怨みを超えていく世界も開けてくるのです。

合掌